

いずみ

泉会事務局
〒157-0076
世田谷区岡本2丁目33番23号
TEL 03(5429)6721(代)
FAX 03(5429)6722
info@izumikai.jp
https://izumikai.jp/

9

2021

社会福祉法人 泉会

本
年
度
の
聖
句

あなたがたの天の父は、求める者に良いものをくださるにちがいない。
だから、人にもしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。
〔「マタイによる福音書」第7章11節〜12節〕



お花の種をまきました(岡本福祉作業ホーム)



神の創造は何という意味か

理事長 齋藤 金義



6月19日前任の佐分利正彦理事長の後任として理事長に就任いたしました。障害者福祉事業については、これまで理事として関わった以外、ほとんど経験したことがなく、職責を果たすことができるか、いささか不安に思っております。し

かしながら、幸いと申しますか、前理事長も暫く理事としてサポート頂けること、保坂業務執行理事をはじめ各施設長や職員の皆様がしっかりされておられるということで、職員の皆様が持てる力を発揮し、入所者様が十分ご満足できる環境づくりの裏方に徹することにより、私なりに責任を果たしたいと存じます。私と泉会の関係は、初代理事長の浅野順一先生が、砧教会の牧師をされている時、当時大学3年生の復活節に洗礼を授かったことに遡ります。歴代の砧教会会員の方々がこの泉会に直接、間接に関わってこられました。私も現在は砧教会を離れ、カトリック上野毛教会員ですが、浅野先生と砧教会に育てられた者の一人として、せめてのご恩返しのご気持ちで取り組みたいと思っております。

冒頭の言葉は、砧教会の前身、大蔵伝道所の1962年度の標語であり、その方針には、「この大蔵伝道所にあるのは、障害者も健常者もなく、主にあってその差を乗り越えるものであって欲しい」とあります。これは浅野先生が開拓伝道されたときからの方針であり、障害者と健常者はどこまで行っても世間の基準において差はあるが、主にあってそれを乗り越えることができるし、乗り越えなければならぬというのが先生の信念でした。

今、その信念を深く思い起こし、味わいたいと思います。

事業報告

法人本部

法令遵守の徹底。利用者の人権尊重を重点として、法人が一致した取り組みを行いました。

- (1)職場の魅力アピール。人材確保や育成・定着に向けて、研修会等を行いました。
- (2)新型コロナウイルス感染者を、一人も出さずに業務を続けることができました。
- (3)第5期3か年計画(1年目)。計画を遂行し、諸会議で課題の実行、確認を行いました。

岡本福祉作業ホーム・玉堤分場

- (1)様々な行事や活動の自粛が必要でしたが、ソフトハード面での感染対策を講じながら活動を行いました。
- (2)外壁工事や入口部のアスファルト修繕等を行い、施設環境整備を行いました。
- (3)世田谷区と有識者で編成される審査委員会に対し、法人の運営・経営状態と合わせて、岡本福祉作業ホームの実績報告と次期計画提案を行い、指定管理者として選定を受ける事ができました。

コイノニアかみきた

- (1)行事は全て形を変えて実施しましたが、計画から利用者が主体的に関わる事ができました。
- (2)サービス検討会で職員の利用者支援での悩みや工夫していることなど共有する事ができました。

日の出舎

- (1)年間を通して新型コロナウイルス感染症対策をしっかり行いつつも、楽しみとなる活動をできるだけ工夫して実施しました。
- (2)リスクマネジメント委員会を毎月実施し、ヒヤリハットの提出が格段に上がり、職員の意識が向上しました。

相談日の出舎

- (1)新型コロナウイルスの感染予防に努めながら、電話での聞き取りなども交えてモニタリングや計画作成を行いました。
- (2)関係機関と連携しながら、困難事例についても積極的に対応しました。

泉の家

- (1)感染症対策の一環として、リモート交流会や外食イベントなど、安全に配慮した行事の工夫を行いました。
- (2)工賃向上の取り組みとして、新規作業の受託と新規自主生産品の販売を開始しました。
- (3)施設内の修繕を計画的に行いました。

相談支援センターおかもと

各関係機関からの情報を得たり、施設への訪問を行ったりしながら丁寧に聞き取りを行い、利用者一人ひとりの望まれる生活に必要なサービスを結び付けられるように計画書作成を行いました。

グループホームこいのにあ

- (1)コロナウイルス感染対策として各居室での食事など、生活様式に影響がありました。
- (2)オンラインでの研修に積極的に申し込み、多くの職員が外部研修を受講できる機会を作りました。

就労日の出舎

- (1)社会参加をめざし、就労移行支援プログラムと工賃向上を重視しましたが、感染症対策のためニーズ調査や企業見学はできませんでした。ただこのプログラムを経て、利用者1名が一般就労を実現しました。
- (2)生産活動では、年間売上23,514,687円、平均工賃49,386円と、過去最高の収益と工賃を達成しました。

グループホームのぞみ

- (1)新型コロナウイルス感染予防に努めた結果、感染者を出すことなく安全な生活の提供ができました。
- (2)感染予防のため一度だけ中止となったものの、年11回の事業所内研修を実施することができました。

2020年度 決算報告

法人単位貸借対照表

令和2年4月1日～令和3年3月31日 (単位:円)

③	
資産の部	
流動資産	352,340,261
固定資産	
基本財産	1,118,591,760
その他の固定資産	320,022,702
固定資産合計	1,438,614,462
資産の部合計	1,790,954,723
負債の部	
流動負債	113,642,056
固定負債	147,495,526
負債の部合計(1)	261,137,582
純資産の部	
基本金	167,037,230
国庫補助金等特別積立金	657,497,569
その他の積立金	146,233,595
次期繰越活動増減差額	559,048,747
純資産の部合計(2)	1,529,817,141
負債及び純資産の部合計(1+2)	1,790,954,723

法人単位資金収支計算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日 (単位:円)

事業活動による収支	
事業活動収入	1,009,579,626
事業活動支出	959,448,818
事業活動資金収支差額(1)	50,130,808
施設整備等による収支	
施設整備等収入	6,378,940
施設整備等支出	24,937,686
施設整備等資金収支差額(2)	△ 18,558,746
その他の活動による収支	
その他の活動収入	9,485,137
その他の活動支出	23,231,340
その他の活動資金収支差額(3)	△ 13,746,203
予備費支出(4)	-
当期資金収支差額(5)=(1+2+3+4)	17,825,859
前期末支払資金残高(6)	257,133,093
当期末支払資金残高(5+6)	274,958,952

法人単位事業活動計算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日 (単位:円)

サービス活動増減の部	
サービス活動収益	1,004,558,210
サービス活動費用	997,051,108
サービス活動増減差額(1)	7,507,102
サービス活動外増減の部	
サービス活動外費用	5,021,416
サービス活動外収益	903,138
サービス活動外増減差額(2)	4,118,278
経常増減差額(3)=(1+2)	11,625,380
特別増減の部	
特別収益	6,932,957
特別費用	7,731,072
特別増減差額(4)	△ 798,115
当期活動増減差額(5)=(3+4)	10,827,265
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額(6)	562,421,482
当期末繰越活動増減差額(7)=(5+6)	573,248,747
その他の積立金取崩額(8)	0
その他の積立金積立額(9)	3,000,000
その他の積立金積立額(10)	17,200,000
次期繰越活動増減差額(7+8+9-10)	559,048,747

2021年度 泉会 新任職員紹介

今年度、泉会に11名の新任職員を迎えました。皆様、よろしくお願い致します。

みなさんの
特技
を聞きました



日の出舎
ありた なおき
有田 直樹
タイピング



日の出舎
みやたけ ゆうか
宮武 有華
*ものづくり*音楽*



日の出舎
かみ かね けいこ
上實 佳子
歌って踊れます!



日の出舎
すずき すばる
鈴木 昂
バスケットボール



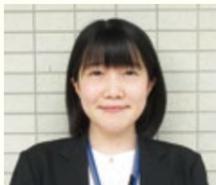
泉の家
こばやし ゆうか
小林 優夏
運動



泉の家
さとう あやな
佐藤 綾奈
卓球



岡本福祉作業ホーム
すずき りょう
鈴木 亮
プラモデル



岡本福祉作業ホーム
たなか あゆみ
田尻 あゆみ
たくさん寝る



コイノニアかみきた
たかくら よしたか
高倉 佳孝
*場を楽しませる事*歌*



コイノニアかみきた
さいとう しんたろう
齊藤 慎太郎
たまねぎの皮を早くむくこと



コイノニアかみきた
おかだ みなこ
岡田 美菜子
水泳

新任職員研修

研修分科会

6月28日・29日の2日に分けて2021年度新任職員研修を実施しました。

2020年6月〜2021年5月に入職した職員を対象に行い、計11名の職員が参加しました。

齋藤理事長は新任理事長に就任後、初めての参加でした。新任職員は緊張の面持ちで、理事長の講話を聴きメモを取る姿が見られ、泉会への理解を深める貴重な時間となりました。

講話後は2か所に分かれ、支援ガイドラインに基づきロールプレイを行い、利用者への声掛けについて考えました。職員各々の答えが違い、互いに気づきを得られたのではないのでしょうか。次に、「報告・連絡・相談」をテーマにグループワークを行いました。

今回の研修ではコロナ禍で各施設の見学や、新任職員全員が対面することはできませんでした。法人について学びを深め、ロールプレイ等を通して自身の支援を振り返り、他者の意見を聞き、業務に対し前向きな姿勢で取り組んでいけるよう研修を実施しました。研修で得た気づきを日々の業務に役立ててもらえたらと思います。



リモートを活用しワーキング



左：保坂理事 右：齋藤理事長

理事長退任に当たって

佐分利 正彦

去る6月19日を以て、社会福祉法人泉会の理事長を退任いたしました。着任当時には考えていなかった期間(8年間)、理事長を勤めてまいりましたが、その間多くの方々にお支えいただきました。深く感謝いたします。

前任理事長の橋向敏治さんと私は同じ教会に属していました。私は大学で有機化学の研究と教育に長く携わって来ましたが、大学を定年退職した後、大学系列の高校の校長を数年勤めました。校長を退任して、日々の勤務のない状態になって間もなく、橋向さんから、泉会の理事に推薦したいこと、そしてご自身の後任として理事長を勤めて欲しいとの要請を受けました。

化学の研究と教育のことはわかるけれども、障がい者福祉には全くの素人である者が泉会の責任ある立場に立つことについて、自分でも半信半疑でした。それでも、理事長着任当時の施設長・課長の皆さんが経験豊富で、大いに助けられました。私の任期中に、これらの施設長さんたちが次々に定年を迎えることになり、各施設で新しい施設長が生まれました。

施設長の交代のように、予めその時期がわかっている人事案件に対しては、準備して臨むことができます。しかし、支援の中核的な人材が突然退職されることもあり、現場が対応に苦慮することもありました。退職の理由としては、例えば親の介護の問題がありましたし、また、精神的なケアが必要となったケースもありました。親の介護も、職場のストレスによる精神的な病



も、現代における社会的課題と言えます。泉会も社会的な課題から無縁ではないことは当然ですが、それにより人材を失うことは私としてもとても辛いことでした。

泉会に在職中に痛感したことの一つは、障がい者支援の業務が究極のアウトログであるということです。利用者の一人一人にふさわしい支援の内容はそれぞれに違っているし、また、その日その日によって利用者の状態が変化するので支援内容の細かな調整が必要です。いくら人工知能が進歩してもこのようなことに臨機に対応することは難しいだろうと思いますし、言い換えると支援の仕事は将来にわたって社会にとって必須であり続けることにも、そこには「機械」ではなく「人」が必要とされると思うのです。

昨年2月から今日まで、新型コロナウイルス感染症が流行の波を繰り返しています。企業の中には社員ほとんどが在宅オンラインで業務をこなすところもあるようです。しかし、社会福祉法人の各施設は対人支援が中心であるため、在宅オンラインで業務を行うことはできません。福祉施設の支援担当職員はいわゆるエッセンシャルワーカーであり、社会活動を維持するために必要不可欠な存在であることがコロナ感染への対応を通して確認されたと思います。

泉会は設立から60数年が経過しました。障がい者支援という事業がこれからもずっと必要とされることは確かです。泉会がこれからも永続的に障害者福祉事業を続けて行くためには、支援の現場を担う人材の確保と育成が重要です。他にも法人の永続的存続のために必要なことは、挙げればきりがないほどありますが、それでも何より重要なことは計画的な人材確保・育成であると思います。最近数年間で一定数の新卒採用を行ってきましたが、若者たちが将来の泉会を強力に支えてくれるであろうことを期待します。

本文中に触れるべきことはまだまだありますが、紙面の関係で割愛することをお許しください。最後に、これまでお世話になったすべての皆さまに改めて感謝するとともに、泉会がその掲げる理念のもとに、与えられた使命を果たし続けて行くことを祈ります。

日の出エリア施設だより

グループホーム のぞみだより

のぞみ職員会議

高橋 健輔

グループホームのぞみでは、基本毎月第1金曜日に、常勤・看護師・非常勤の職員全員が集まって職員会議を行っています。グループホームでは、基本的に職員ひとりでの勤務となることから、月1回他の職員と顔を合わせたり、意見交換ができる唯一の機会となっています。午後1時から3時までの2時間の中に、連絡事項の伝達・利用者会議で利用者から上がった意見の報告と検討・各利用者の状況報告や課題の検討・ヒヤリハットの検討などに加えて、毎回職員研修も行っています。職員研修では、毎回テーマに合わせて職員が講師となり研修を行っています。内容としては、虐待防止についてや障がいの特性について、介助技術の基本や感染症についてなど。先日は日の出舎の管理栄養士に講師をお願いし、栄養についての研修を行いました。のぞみでは職員が食事を作っていますので、一同真剣に、また興味を持って話を聞いていました。

非常勤職員は、休みや夜勤明け、勤務前という日時での開催にも関わらず、毎回ほとんどの方が出席しています。そ

して、毎回時間をオーバーしてしまう位に、熱心に意見を出し合っています。職員会議は、グループホームのぞみが、そんな素晴らしい職員に支えられ成り立っているということ毎月再確認させられる機会であると同時に、「自分ももっと頑張らないとな…」と反省させられる機会ともなっています。



研修で利用者の就学を見学
「GHとは違う顔…」



研修で使った
「内臓パズル」
むずかしい



世田谷エリア施設だより

泉の家 だより

初！施設内での自転車販売会

奥田 昌規

例年5月開催の「せたがや環境フェスタ」中止の為、初めての試みとして泉の家にて、リサイクル自転車販売会を実施しました。緊急事態宣言の発出等もありましたが、6月26日に無事開催することができました。久々の販売会ということもあり、参加について伺った際には、多くの利用者の方から参加希望がありました。

当日の会場は、販売開始から賑わいを見せていました。販売会に合わせてプース・カフェもオープンし、売上アップに繋がりました。

開催に伴う様々な工夫とボランティアさん・ご家族の協力もあり、大成功の販売会となりました。皆様ご協力ありがとうございました。

8月開催の「せたがやふるさと区民まつり」での自転車販売も中止が決定しています。その為、10月に泉の家にて第2回目の自転車販売会を予定しています。日程等詳しい情報は、決定次第ホームページにてお知らせ予定です。こちらも楽しみにいただければと思います。



広々とした
スペースで
販売できました



利用者さんも
自転車に挑戦！



日の出エリア施設だより

就労日の出舎 だより

桧の箸づくり

加藤 圭介

5月、提携企業より桧の箸を5000膳受注しました。10名ほどの利用者と生産ラインを組み、日々作業を展開しています。

作業工程として、①木材仕入れ(連携している製材所より多摩産材の桧板を仕入れ、在庫のストックヤードから桧板を選定)②木取り(専属の職員による製材加工)③成形加工(治具を用いた手カンナによる加工)④角面取り(治具を用いた手カンナによる加工)⑤仕上げ磨き(紙やすりにて手仕上げ)⑥粉取り(エアガンによる)⑦レーザーによる印字加工⑧レーザー加工時に出るヤニ拭き取り⑨1膳セット(木肌色合わせ)⑩袋へのラベル貼り⑪袋詰め⑫透明ラベルによる封緘、と多くの工程を経て製造されます。

その中で③の成形加工は箸づくり作業の要とされる大事な工程です。この工程を2名の利用者で展開しています。



箸の仕上げ磨き作業



手カンナ作業実践中

1名は技術力の高いベテラン利用者です。

もう1名は昨年度より通所を、開始された大塚翔太さんです。大塚さんはこれまでも様々な作業を経験されてきましたが、今回の箸づくり工程の中で手カンナ作業の技術を習得し、現在では作業には欠かすことのできない重要なポジションに就けるようになりました。手カンナ作業は根気強さと持続力が求められる作業ですが、一日を通して高精度の作業を展開しています。ご本人も自分の仕事(自らの役割)と認識しており、作業に対する責任感やモチベーションも高く、今後も箸づくり作業の重要なポジションを担っていくことになるでしょう。

様々な作業を受注することによってご利用者の作業技術の向上を図り、事業所全体のレベルアップを目指していきます。



大塚翔太さん
頼りになります



ジャガイモ大収穫！！

岡野 夏貴

6月18日、日の出舎の畑では3月に種芋を植えたジャガイモが大量に収穫されました。午前中は入所の利用者が、午後は通所生活介護の利用者が、職員と共に初夏の暑さの中、顔を真っ赤にしながら掘り出してくれました。

皆さんできることを率先して行って下さった甲斐もあり、すべてのジャガイモが収穫されました。収穫されたジャガイモは利用者の要望をしっかりとリサーチし、みなさんに美味しく召しあがって頂こうと思っています。



ジャガイモ料理の王道は？

日の出舎 だより



岡本福祉作業ホーム
だより

青果販売

真野 陽介

2021年、岡本福祉作業ホーム就労継続B型では、青果販売を始めました。練馬区の生産者から、農薬不使用の青果を仕入れています。

利用者の方には、まず始めに青果の確認をお願いしています。傷などはないか検品をして、汚れを慎重に落とします。次に、綺麗になった青果を、傷みが出ないように小分けに袋に入れて、値札シールを貼り販売します。

他にも、利用者がパソコンを使用してチラシやポスターを作成して、掲示板やポスティングでお知らせをしています。

現在までに様々な青果を販売しました。レモン、グレープフルーツ、キンカン、青梅、プラムなどです。

ご購入頂いたお客様から「次の販売はいつですか」「とっても美味しかったです」とご感想を頂き、大変好評です。

事前の作業会議で、販売をする青果にブランド名を付けよう!と話し合いを行い、全員でアイデアを出し合いました。投票をしてブランド名は“おかもとキポス”に決定しました。キポスはギリシャ語で庭という意味です。これからも“おかもとキポス”で美味しさを販売していきます。



真剣な表情で袋詰め!



美味しいフルーツ
いかがですか?



岡本福祉作業ホーム
玉堤分場だより

七夕行事について

上原 優和

今年も昨年同様に七夕行事を行いました。6月下旬に願い事を書き、短冊を作成していただきました。短冊は、色紙用紙を使い、筆と墨で仕上げた玉堤分場のオリジナルです。利用者の皆さんは何を書こうかなと考えながら、楽しんで参加していました。今年も岡本民家園から大きくて立派な笹をもらい、利用者、職員全員の短冊を笹に飾りました。こま

では昨年と変わらずですが、今年は更に季節感を味わえるよう和菓子を食べました。和菓子を用意することを皆さんに伝えた時は「やったー!」と喜ばれ、笑顔があふれていました。他にも、玉堤分場施設内が色鮮やかになるよう折り紙や織姫と彦星のパネルを作成し、とてもにぎやかにしました。

来年は、新型コロナウイルスが収束していることを願います。



願い事かけました!



織姫と彦星



コイノニアかみきた
だより

しおりを小学校にお届け!

木村 賢幸

生活介護の紙すき活動としてしおり作りを行い、6月に八幡山小学校にプレゼントしました。

しおりを作るにあたって、牛乳パックのビニールはがし、紙ちぎり、ミキサーがけ、紙の成型、スタンプ押し等様々な工程があります。利用者の皆さんと話し合いながら、それぞれの工程を分担し、コイノニアオリジナルのしおりが完成しました。

小学校に到着すると元気な子どもたちの声がお出迎え。

その声を聞いて利用者の皆さんも「かわいいね」と嬉しそうにお話されていました。校内までご案内いただき、今回は1学年分の72枚をお渡ししました。

新型コロナウイルスの影響もあるなか、こうして地域交流の機会をいただけて、八幡山小学校の皆様には本当に感謝しております。

今後も感染対策を徹底したうえで、地域の皆様と交流出来る機会を定期的に設けていきたいと考えております。



手作りのしおりをプレゼント!



分担して作業を行っています!



グループホーム
コイノニア
だより

コロナ禍なんて、なんのその

田村 義宣

世間では、コロナウィルスのせいで、あらゆることに制限がかかり、したいことができなくなっている現在、当然、ついてまわるのが個々に抱えるストレス。そのストレスを「グループホームこいのにあ」の入居者達は、うまく発散させているようです。

就労の疲れを癒すためにマッサージ店をはしごする人、昔やっていた刺繍を新たにはじめて大作を作り上げる人、新しい料理やお菓子づくりに挑戦し励む人、大好きな散歩

しながら電動車いすの運転を上達させた人、などなど。彼らの笑顔を見る度、話を聞く度に私たち職員のほうが元気づけられる始末です。彼らの持つストレスを溜めない自然な生き方には脱帽させられます。

コロナウィルスが収束したその時は、全員集合で、思いっきりイベントを楽しみたいです。

リクエストの多かったクリスマス会の開催を目指して、12月は全員で楽しみたいです。



アイラヴさんぽ♡



大作が完成しました!



縁あつて泉会

デザイナー
林瑠璃

広報誌「いずみ」201号からデザインを担当しています。林瑠璃です。この度はご機会をいただきまして、自己紹介をさせていただきます。私は、2018年から、就労日の出舎で、製品の開発デザインの仕事をいただいています。日の出舎を知ったきっかけは、私が江戸東京たてもの園でクラフトワークショップの指導を担当した際に、製品を使わせていただいたことです。温かみのある木の製品を気に入って、個人的に木製玩具の制作を依頼し、つながりました。現在は、月に数回現場に出動し、デザインの仕事をしています。そして、縁が広がり、広報誌を担当し泉会に関わることができ、大変嬉しく思っています。

その他の活動として、美術館文化施設福祉事業所での造形指導やワークショップを行っています。

大学ではテキスタイルデザインを学びました。布製品、グラフィックやイラストデザインが得意ですので、ぜひお気軽にお声がけ、ご相談ください。



知育玩具 ドレミパズル



林瑠璃
デザイナー/造形講師
art.garden.studio.info
@gmail.com

2021年度9月～12月予定表

月	日	内容
9月	10日(金)	Open the Door(泉の家) まるごとおかもと(岡本ホーム)
	17日(金)	日帰り旅行(玉堤分場)
10月	8日(金)	日帰り旅行①(岡本ホーム)
	15日(金)	秋の収穫祭(日の出舎・就労日の出舎)
	29日(金)	日帰り旅行①(泉の家) 日帰り旅行②(岡本ホーム)
11月	5日(金)	日帰り旅行②(泉の家) 日帰り旅行③(岡本ホーム) 日帰り旅行(玉堤分場)
	12日(金)	日帰り旅行③(泉の家)
	26日(金)	日帰り旅行④(泉の家)
	12月上旬	クリスマス会(日の出舎・就労日の出舎) 年納め会(岡本ホーム)

月	日	内容
9月	1日(水)	小田急線販売 梅ヶ丘駅(コイノニア)
	4日(土)	テラス販売(玉堤分場)
	8日(水)	小田急線販売 経堂駅(コイノニア) こひつじまつり(泉の家)中止 玉福まつり(泉の家)
10月	2日(土)	テラス販売(玉堤分場) 自転車販売会(泉の家) 区民スポーツまつり(泉の家) 砧南まつり(泉の家)中止 砧ふれあいまちづくり(泉の家) いきいき文化祭(泉の家)
11月	6日(土)	テラス販売(玉堤分場) 民生児童委員大会(泉の家) ハーフマラソン(泉の家) 駒澤大学スポーツフェスティバル(泉の家) 駒澤大学ファンタジスタ(泉の家)
12月	4日(土)	テラス販売(玉堤分場) ふれあいフェスタ(泉の家・岡本ホーム) ファーマーズマーケット(泉の家)

【お知らせ】新型コロナウイルスの影響で記載の予定が変更や中止となる場合があります。また、恒例となっている行事につきましても、中止とさせていただきます。詳しくは、各事業所までお問い合わせ下さい。

編集者
デザイナー
林瑠璃

発行所
障害者団体定期刊行物協会
〒157-0072
東京都世田谷区祖師谷3-11-17
両面五十円

法人本部
泉の家
〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号
☎03(3417)3451(代) FAX03(3417)3463
✉izumi@izumikai.jp

岡本福祉作業ホーム
〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号
☎03(3415)3366(代) FAX03(3415)4976
✉okamoto@izumikai.jp

相談支援センター
おかもと
(岡本福祉作業ホーム内)
✉soudan-okamoto@izumikai.jp

玉堤分場
〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号 B1F
☎03(5707)9431(代) FAX03(5707)9433
✉tamatutumi@izumikai.jp

コイノニア
かみぎた
グループホーム
こいのにあ
〒156-0057 世田谷区上北沢1丁目32番14号
☎03(5316)2251(代) FAX03(5316)2252
☎03(5316)2254(グループホーム)
✉koinonia@izumikai.jp

日の出舎
就労日の出舎
相談日の出舎
〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番
☎042(597)1451(代) FAX042(597)2205
✉info@hinodesha.org

グループホーム
のぞみ
〒197-0804 あきる野市秋川2丁目3番1号
☎042(533)3608 FAX042(533)3609

編集後記

まもなく2021年の折り返しに入ります。利用者の笑顔がより一層見られることを願いながら、日々の支援に取り組んでいきます。(コイノニアかみぎた 梶山)